

日曹ピラニカ水和剤

(PYRANICA WP)

登録番号 第18341号

種類名 テブフェンピラド水和剤
tebufenpyrad

殺虫剤分類 21A

性状 類白色水和性粉末 45 μm以下

有効年限 4年

有効成分 テブフェンピラド 10.0%

P R T R テブフェンピラド(PRTR・1種) 10.0%
ドデシル硫酸ナトリウム(PRTR・1種) 1.7%

毒性 医薬用外劇物

包装 500g×20袋

■特 長

1. ナミハダニ・リンゴハダニ・ミカンハダニ・カンザワハダニなど、ハダニの種類を問わず優れた効果を発揮します。
2. ハダニの卵・幼虫・若虫・成虫の、すべてのステージに高い効果を発揮します。
3. ハダニ類に対して速効的に効果を発現します。
4. 気温の影響を受けることなく、いつでも安定した効果を発揮します。
5. ミツバチ・マメコバチ・カイコなど、有益昆虫に対する影響が少ない薬剤です。

■適用害虫名及び使用方法

(2020年11月25日現在)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ /10a)	使用時期	本剤およびテブフェンピラドを含む農薬の総使用回数	使用方法	
りんご	ハダニ類	1,000～2,000	200～700	収穫14日前まで	1回	散布	
	ユキヤナギアブラムシ リンゴサビダニ うどんこ病	2,000					
なし	ハダニ類	1,000～2,000		収穫14日前まで			
	ニセナシサビダニ	1,000					
かんきつ (みかんを除く)	ミカンハダニ	1,000～2,000		収穫21日前まで			
	チャノホコリダニ	2,000					
みかん	ミカンハダニ	1,000～2,000		収穫前日まで			
	チャノホコリダニ	2,000					
もも	ハダニ類	1,000～2,000		収穫14日前まで			
おうとう		1,000		収穫30日前まで			
大粒種ぶどう		2,000					
かき				カキサビダニ			収穫21日前まで
				イチジクモンサビダニ			収穫7日前まで
パパイヤ				ハダニ類			収穫3日前まで
マンゴー		1,000					収穫14日前まで

△ 効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようについていねいに散布してください。
3. 本剤の連続散布は、ハダニ類の本剤に対する抵抗性を増加させるおそれがあるので、年1回の使用とし、他の殺ダニ剤との輪番で使用してください。

4. かきの展葉後から開花期に使用する場合、品種によっては、早期落葉を生じない程度の葉の褐変が発生する場合があるので、事前に確認してから使用してください。
5. ばらの新展開葉に薬害を生じることがあるので、薬剤がかからないように注意してください。
6. さつきに薬害を生じることがあるので、薬剤がかからないように注意してください。
7. 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
8. 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
9. 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
10. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意

11. 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
12. 粉末は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
13. 散布の際は、防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
14. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
15. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

水産動植物への影響：水産動植物（魚類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に、カギをかけて保管してください。

盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

-
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤などで消火に努めてください。
 - 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
 - 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
 - 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。